

令和6年度 学校・家庭・地域連携協力推進事業について

1 目的

学校・家庭・地域の連携・協働した取組を実施し、児童・生徒の学校の授業だけでは得られない知識・経験・能力の向上と、学校を核として地域全体の教育力向上及び地域の活性化を図り、人と人、人とまちとがつながり、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援する。

2 事業の内容

学校・家庭・地域がそれぞれの機能を果たしながらより一層連携を深め、児童生徒に多様な学びや体験を提供するなど、地域全体で子どもを育てる環境をつくるとともに、学校を核とした活動を通して地域住民の交流を図り、地域コミュニティの活性化を図る。

<主な活動>

- ・学校支援活動
- ・放課後子供教室
- ・地域活動(防災キャンプ等)
- ・家庭教育支援活動

3 評価・検証

<成果>

- ・地域住民、地元企業、協力団体との関わりにより、社会的、職業的自立へとつながる。
- ・多くの地域住民等との交流を通して、褒められたり認められたりすることによる自己肯定感、他人を思いやる心、地域への愛着が形成される。
- ・地域ボランティアの輪が広がり、地域の中での顔見知りが増えることでの地域活性化
- ・活動に参加する地域住民の生きがいづくりや自己実現へとつながる
- ・学校と地域の連携・協働体制を構築することにより、地域への理解が高まり、地域の担い手の育成、地域への愛着へとつながる。

<検証方法>

推進委員会等(社会教育委員会議、地域学校協働本部会議等)において評価検証を実施

4 事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値
多賀城市	③学校と家庭の課題	その他	転入・転出が多い本市の特性上、慣れない環境下で子育てを行う不安や悩みを持つ家庭が多いため、学校や地域と、家庭がそれぞれ連携しながら、学校を核として地域全体の教育力向上及び地域の活性化を支援することが共通の課題となっている。	・地域学校協働本部の運営を行い、地域と学校の情報連携を密にする。(地域学校協働活動推進、情報交換等) ・地域学校協働活動を実施する。 ・子育て、食育等に関する家庭教育講座を年10回実施する。	・児童・生徒の学校の授業だけでは得られない知識・経験に触れる機会が増加する。 ・学校を核として地域全体の教育力向上及び地域の活性化が図られ、次代を担う子どもたちが健やかに成長する。	地域学校協働活動の実施回数(放課後子ども教室(イベントのみ)、防災キャンプ、学校支援活動、家庭教育講座)	47	回	372